



命を守り、一次情報をつかむ夏に

本日、1学期の終業式を迎えました。統合2年目となる本校では、大運動会や各種大会、日々の授業、生徒会活動などを通して、生徒たちの前向きな姿と確かな成長を数多く見る事ができました。これも、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご支援によるものと、心より感謝申し上げます。

さて、7月25日から8月19日まで、26日間の夏休みが始まります。終業式では、夏休みを迎える生徒たちに、二つのことを伝えました。

1 「自分の命、そして周りの人の命を大切にすること」

大船渡中学校の教育活動すべての土台にあるのは、生徒一人一人の「命と安全」です。事故や災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。交通ルールを守ること、川や海での水難事故に十分注意すること、熱中症を防ぐために無理をせず、水分を取り、適切に休憩すること。その一つ一つを確実に実行することが、自分と周囲の人の命を守ることにつながります。「自分は大丈夫」という油断が、取り返しのつかない結果を招くことがあります。**危険を予測し、自分で考え、正しく判断して行動**することが大切です。長い休みの間も「自分の命は自分で守る」という意識を決して緩めず、全員が元気に2学期を迎えてほしいと願っています。



徒手搬送



心肺蘇生

消防・防災訓練（7月9日）

2 「自分だけの一次情報をつかむこと」

一次情報とは、自分で見たり、聞いたり、体験したり、観察や調査をしたりすることによって、直接得られる情報です。今、私たちの周りには、インターネットやSNSを通じて、膨大な情報があふれています。検索すれば、何でも分かったような気持ちになることもあります。しかし、そこにある情報の多くは、誰かが書き直したり、編集したりした「二次情報」や「三次情報」です。中には、根拠のないうわさや、事実と異なる情報も含まれています。「ネットで見たから知っている」ということと、「自分の目で見て、耳で聞き、自分で確かめた」ということは、同じではありません。**自分自身の経験を根拠に語る**ことのできる人の言葉には、**説得力があり、その人ならではの魅力**があります。

例えば、先日3年生が行った「まちあるき」のように、自分たちが暮らす大船渡の自然や歴史、文化を、自分の足で歩いて調べてみる。家族や地域の方から、昔の出来事や仕事への思いを直接聞いてみる。芸術作品やスポーツを実際に見に行き、その場の空気や熱気を肌で感じてみる。家庭での手伝いや地域の行事、部活動、旅行なども、意識の向け方によっては、かけがえのない一次情報を得る機会になります。自分の五感を十分に働かせて一次情報をつかみ、そこで感じたことや考えたことを、自分の言葉で表現する。それは、生徒たちの**視野を広げ、思考を深め、さらなる成長**につながるはずです。

安全で、充実した26日間となるよう、各家庭でもお声がけをお願いいたします。また、地域の皆様には、生徒たちを見守っていただくとともに、地域ならではの経験や知恵に触れる機会をいただければ幸いです。8月20日、一回り成長した生徒たちと、元気に再会できることを楽しみにしています。

人の「心」に響く合唱へ 合唱曲決定！

10月25日（日）、本校の文化祭を開催します。合唱コンクールで披露する各学級の課題曲と自由曲が決まりました。

生徒たちは、4月の生徒総会で「『人の心に響く合唱』、『全力で想いを伝える応援』、『学校や地域を明るくするあいさつ』の三つを大切な伝統としていきます」と宣言しました。これから、歌詞に込められた思いを受け止め、仲間と声を重ねながら、自分たちらしい合唱をつくり上げていきます。一人一人の思いと歌声が重なり、「人の心に響く合唱」へと育つことを期待しています。

保護者・地域の皆様のご来場をお待ちしております。

令和8年度 文化祭 合唱コンクール曲目		
学級	課題曲	自由曲
1年1組	夢の世界を	大切なもの
1年2組		旅立ちの時
2年1組	地球星歌	いのちの名前
2年2組		あなたへ
3年1組	ぜんぶ	点描の唄
3年2組		愛をこめて花束を